

# 診療科紹介

## — 小児科 —

JA 広島総合病院小児科は、常勤医師 4 名（辻徹郎、藤井寛、横山信子、二神良治）、嘱託医師 2 名（中畠千恵子、岡畠宏易）の計 6 名で診療にあたっています。午前の一般外来診療は感染症をはじめとする急性疾患の診療が中心となり、午後の外来診療はアレルギー性疾患やてんかん等、神経疾患の慢性疾患の再診外来、乳児健診、予防接種を行っています。当科の専門性を活かした外来診療として、食物アレルギーや気管支喘息、アトピー性皮膚炎といったアレルギー性疾患に対する専門診療があげられます。診療実績としては、食物アレルギーに対する食物経口負荷試験の実施数は年間 700～800 件を数え、県内随一を誇ります。治療の面においても、従来の薬物療法に加え食物アレルギーやアレルギー性鼻炎に対するアレルゲン免疫療法を積極的に行っています。

小児アレルギー疾患全般に対する専門診療が可能なのが当科の一番の特色ではありますが、それ以外にも内分泌疾患、腎疾患、循環器疾患など様々な病気の初期診療も対応できるよう、“子どもの総合診療医”として患者さんに接することをスタッフ一同心がけています。

